# 令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	数学	単位数 (コマ数)	3単位 (3コマ)	履修年次	3年次
科目名	数学総合	履修	選択	開講	通年
教科書	高等学校 数学C(数研出版)	H 11/1/2 1/1	リンク数学Ⅲ・C[複素数平 2025共通テスト対策 実力完 2025共通テスト対策 実力完	成直前演習 数学	I A 70分×7回

#### 1 学習の目標

「数学 I A」、「数学 II BC」の各単元について問題演習をし、大学入学共通テストの「数学 I A」「数学 II BC」に対応できる基礎的・発展的な知識と技能の習得および思考力・判断力・表現力の向上を図る。

## 2 学習の方法

- ①大学入学共通テストと同形式の問題を用いて、実践的に問題演習を行います。
- ②ペア学習やグループ学習を通して、より良い解法について考察します。
- ③シラバスを活用して、学習のねらいを明確にします。
- ④毎時間の振り返りをすることで自ら課題を認識し、その解決に向けて次の計画を立案しやすい環境を作ります。
- ⑤授業の際に必要な物 上記副教材、問題集、ノート、数学ファイル(シラバス)

# 3 評価について

$\bigcirc$ = $\pm$		
(コンミツ	価の観点	7
∖I/ <del></del> न∓		

・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 東京なお光光は、また、光光光は、一般では、一般では、東京などのできます。

・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身につけている。

思考·判断·表現

・事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力を身につけている。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。

主体的に学習に取り 組む態度 ・数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。

の評価の方法

と計画の万法					
材料 観点	定期 考査	課題	ワークシート	グループ ワーク	評価方法
知識•技能	0	0			ペーパーテストによる点数化(基本問題)
思考·判断·表現	0	0		0	ペーパーテストによる点数化(応用問題等) グループ学習での取り組み状況、振り返りシート
主体的に学習に 取り組む態度		0	0	0	課題・グループ学習での取り組み状況、振り返りシート

### 4 その他

①何ができて何ができなかったかを毎時間確認しよう。

できなかった問題については授業の中で着実に習得し、4プロセスやチャート式などを用いて復習をしましょう。 できることを増やし、自信をつけていきましょう。

②どうしてその解答をしたのか、理由を述べられるようにしよう。

今後求められる学力や新しい大学入学試験では、答えよりも、その答えに至る思考の過程を重視するため、どのように考え、どのような計算をしたのか、相手にわかるように表現することが求められます。大学入学共通テストにおいても、そのような問題が多く出題される見込みです。

F #=~	
5 単元の	·目標·評価
 単元名	数学C 複素数平面
<u> </u>	
単元の目標	複素数平面と複素数の極形式, 複素数の実数倍, 和, 差, 積及び商の図形的な意味を理解し、ド・モアブルの定理の考察と活用ができるようにする。
育成を目指す力	
活動形態	一斉授業、ペアワ <del>ーク、グル</del> ープワーク
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。
評価の観点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学的に表現・処理できるようにする。   表現・処理できるようにする。   表現・処理できるようにする。   表現・必要できる。   表現・返り多面的・発展的に考えることができる。   表現・返り多面的・発展的に考えることができる。   表現・定義極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。   表現・必要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を
単元名	数学C 式と曲線
単元の目標	放物線, 楕円, 双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解する。 曲線の媒介変数表示 <u>について</u> 理解する。
育成を目指す力	
活動形態	一斉授業、ペアワーケ、グループワーク
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。
評価の観点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	式と曲線についての基本的な   式と曲線について、表現の工   式と曲線について、数学的な表   概念や原理・法則を体系的に

単元名	数学 I 演習				
単元の目標	数と式、図形と計量(三角比)、二次解くことができるようにする。また、 る問題に対して考察できるようにす	問題を多面的に見			
育成を目指す力		創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワ <del>ーク、グル</del> ープ	プワーク			
活動内容	授業者による説明を行い、適宜	ペアワークやグル	レープワークなと	きを行う。	
評価の観点	知識・技能	思考·判	断·表現	主体的に学習に	こ取り組む態度
評価規準	数と式、三角比、二次関数、 データの分析における基本的 な概念、原理・法則などを理解 し、知識を身につけている。ま た、式の計算、二次関数の値、 三角比の値、データの分析に 用いる指標を確実に求めること ができる。	方程式、不等式 角比、データ分類 用することで事業 考察し、表現する けている。	析の指標を活 象を多面的に	角比、データの	分析に興味・関 こ、数学のよさを を事象の考察に

単元名	数学A演習						
単元の目標	きるようにする。また、問題を多面的 して考察できるようにする。	図形の性質について理解を深め、碁 りに見たり処理したりするとともに、!	思考力・判断力を要する問題に対				
育成を目指す力	行動・挑戦力 (課題解決力)	創造力 発信力	自己管理力   継続力				
活動形態	一斉授業、ペアワーク、グループ	プワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度				
<b>証価担</b> 進	場合の数と確率、整数の性質 又は図形の性質における基本 的な概念、原理・法則などを理 解し、知識を身につけている。 また、事象の確率を確実に求 めたり、整数の性質及び図形 の性質を活用することができ る。	場合の数や確率、整数の性質 及び図形の性質において、事 象を多面的に考察し処理したり 表現したりする方法を身につけ ている。	場合の数や確率、整数の性質 及び図形の性質に興味・関心 をもつとともに、数学のよさを認 識し、それらを事象の考察に活 用しようとしている。				

単元名	数学Ⅱ演習					
	的な問題を確実に解くことができる カ・判断力を要する問題に対して表					
育成を目指す力			自己管理力   継続力			
活動形態	一斉授業、ペアワ <del>ーク、グルー</del> フ	プワーク				
活動内容	授業者による説明を行い、適宜	授業者による説明を行い、適宜ペアワークやグループワークなどを行う。				
評価の観点	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	いろいろな式、図形と方程式、 指数関数・対数関数、三角関 数及び微分・積分についての 基本的な性質を理解しており、 事象を確実に表現し処理する 能力を身につけている。	事象を適切な方程式、関数を 用いて表現し、それぞれの性 質や公式、微分法・積分法など 用いて考察するなど、数学的な 見方や考え方を身につけてい る。				

W - 5	141 W - 14 77		
単元名	数学B演習		
単元の目標	数列又は統計的な推測について理 問題を多面的に見たり処理したりす る。		
育成を目指す力	│ 行動·挑戦力 <b>/</b> 課題解決力	創造力 発信力	│ 自己管理力 │ 継続力 │
活動形態	一斉授業、ペアワーク、ゲループ		
活動内容	授業者による説明を行い、適宜	ペアワークやグループワークなど	どを行う。
評価の観点	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	数列又は統計的な推測についての基本的な性質を理解しており、事象を確実に表現し処理する能力を身につけている。	数列又は統計的な推測において、事象を多面的に考察し処理したり表現したりする方法を身につけている。	数列又は統計的な推測に興味・関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。

単元名	数学C演習				
単元の目標	ベクトル、複素数平面又は式と曲線 する。また、問題を多面的に見たり きるようにする。	処理したりするとと			に対して考察で
育成を目指す力			発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワ <del>ーク、グル</del> ープ	プワーク			
活動内容	授業者による説明を行い、適宜	ペアワークやグノ	ループワークなと	きを行う。	
評価の観点	知識・技能	思考•判	断·表現	主体的に学習に	エ取り組む態度
評価規準	ベクトル、複素数平面又は式と 曲線についての基本的な性質 を理解しており、事象を確実に 表現し処理する能力を身につ けている。	ベクトル、複素数 曲線において、 に考察し処理し する方法を身に	事象を多面的 たり表現したり	ベクトル、複素数曲線に興味・関ルに、数学のよさならを事象の考察している。	心をもつととも ∙認識し、それ

計画

224					
学期	月	単元	項目	予定時数	考査
	4	数学C 第3章 複素数平面	□複素数平面 □複素数の極形式 □ド・モアブルの定理	8	
	5	数学C 第3章 複素数平面 数学C 第4章 式と曲線	□複素数と図形 第1節 2次曲線 □放物線 □楕円 □双曲線 第2節 媒介変数表示と極座標 □曲線の媒介変数表示 □極座標と極方程式 □コンピュータの利用	12	前期中間考査
前期	6	数学 I A 数学 II BC	直前演習 数学 I・A(第1回) □数と式 □2次関数 □図形と計量 □データの分析 □図形の性質 □場合の数と確率 直前演習 数学 II・B・C(第1回) □式と証明、複素数と方程式 □図形と方程式 □いろいろな関数 □微分法・積分法 □数列・ベクトル □統計的な推測	12	前期期
	7	数学 I A	直前演習 数学 I·A(第2回) □数と式 □2次関数 □図形と計量 □データの分析 □図形の性質 □場合の数と確率	9	<b>加末考査</b>
	8	数学ⅡBC	直前演習 数学 II・B・C(第2回) □式と証明、複素数と方程式 □図形と方程式 □いろいろな関数    □微分法・積分法 □数列・ベクトル    □統計的な推測	5	
	9	数学 I A 数学 II BC	直前演習 数学 I・A(第3回) □数と式 □2次関数 □図形と計量 □データの分析 □図形の性質 □場合の数と確率 直前演習 数学 II・B・C(第3回) □式と証明、複素数と方程式 □図形と方程式 □いろいろな関数 □微分法・積分法 □数列・ベクトル □統計的な推測	10	
	10	数学 I A 数学 II BC	直前演習 数学 I・A(第4回)  □数と式 □2次関数 □図形と計量 □データの分析 □図形の性質 □場合の数と確率 直前演習 数学 II・B・C(第4回) □式と証明、複素数と方程式 □図形と方程式 □いろいろな関数 □微分法・積分法 □数列・ベクトル □統計的な推測	12	後期中間考査
後期	11	数学 I A 数学 II BC	直前演習 数学 I・A(第5回) □数と式 □2次関数 □図形と計量 □データの分析 □図形の性質 □場合の数と確率 直前演習 数学 II・B・C(第5回) □式と証明、複素数と方程式 □図形と方程式 □いろいろな関数 □微分法・積分法 □数列・ベクトル □統計的な推測	12	
	12	数学 I A 数学 II BC	直前演習 数学 I・A(第6回) □数と式 □2次関数 □図形と計量 □データの分析 □図形の性質 □場合の数と確率 直前演習 数学 II・B・C(第6回) □式と証明、複素数と方程式 □図形と方程式 □いろいろな関数 □微分法・積分法 □数列・ベクトル □統計的な推測	10	